

## 1 多様なアプローチ（きっかけづくり）による里地里山の再評価と協働による取組の進展

### ⑦ ツーリズムや都市との交流のテーマとして活用することで、里地里山への評価が高まった例

#### 京都：ログハウスづくりや田植え体験による交流の促進

##### ● ログハウスづくり講習会（大江地区）

大江地区は13戸30人の小さな集落であり、これまで何組かの移住者があったものの移住者の希望に沿いかつ提供可能な空家が少ないことが課題となっている。このため、移住者が自身の手でログハウスを建築することもひとつの選択肢として捉え、将来、田舎に暮らしたいという人たちにそのための技術を習得してもらうことを目的にログハウスづくり講習会を開催している。



受講者が大江地区への移住希望者であるとは限らないが、将来的には希望者に地区の土地を斡旋して新規定住につなげることが期待されている。また、建材の一部に地区周辺の間伐材も利用しており、間伐材の有効利用にもなっている。

##### ● 田植え体験（宮津地区）

棚田の美しい宮津地区では、地域住民やNPOが中心となって田植え体験イベントを開催し、小学生から中高年までが参加することにより、棚田の美しさを再認識すると共に、水の美しい地域におけるコメの味の評価が高まった。

